

## 洋野町及び久慈地区乾しいたけ品評会の開催

大震災に伴う福島第1原発事故の放射性物質の影響で、県や地区の乾しいたけ品評会が断念する中、比較的影響の少ない当管内の乾しいたけ品評会の開催について報告します。

### 1 洋野町乾しいたけ品評会

年度当初から原木生しいたけや乾しいたけの放射性物質の全戸検査が始まっている中、新基準値超えが無いことを祈りつつ、岩手のしいたけ産地は元気で頑張っていることを発信したいと、洋野町がいち早く品評会の開催を決意しました。発生時の天候不順により出品数は78点と大幅に減少しましたが、5月22日に審査会、25日に表彰式を行うことができました。



### 2 第32回久慈地区乾しいたけ品評会

発生ピークはゴールデンウィークで、前半の急激な夏日の気温、後半が雨となり、近年にない厳しい気象条件の中、104点(前年175点)の出品をしていただき、6月7日に審査会、6月11日に表彰式を開催することができました。

急激な高温からどんこ系が激減し、傘の開いた軽い香信がやや増加、異銘柄が多く品揃えの

ご苦労が強く感じられました。震災の大きかった野田村からも何とか2点出品してもらい、管内4市町村全ての参加となりました。



### 3 県内生産者にエールと岩手の元気を全国発信

表彰式後に生産者を代表して、正路正敏さんから、出荷規制という厳しい状況にあるなかで、踏ん張っている県内生産者の仲間にエールを送り、岩手の元気を全国に向け発信しました。県を通じて全国品評会に出品する久慈地区の47点は、放射性物質検査が実施済みであり、新基準値以下の安全なものとなっています。

